

足立区立六月中学校

第一回 進路説明会

令和7年5月16日(金)

高校を決めるための ヒント

高校を決めるためのヒント

- 一、夢を持ち
- 二、己を知って
- 三、よく調べ
- 四、計画を立て
- 五、自ら決める

高校を決めるためのヒント

1 高校卒業後の進路について(夢を持つ)

- ①難関大学に進学する。
- ②①以外の大学に進学する。
- ③専門学校に進学する。
- ④就職する。(正規・非正規)
- ⑤大学付属校で7年間を見通した高校生活を送りたい。

高校を決めるためのヒント

2 高校卒業後の進路について(己を知る)

- ①自分の18才、22才、30才のイメージ。
- ②自分の特性や性格。
- ③自分の得意不得意。

高校を決めるためのヒント

3 通学時間について（己を知る・調べる）

- ①30分程度。
- ②1時間以内。
- ③1時間半程度。
- ④寮も可。

高校を決めるためのヒント

4 学習制度やコースについて（調べる）

- ①全日制か定時制か通信制か。
- ②学年制か単位制か。
- ③普通科・専門学科・2つを合わせた総合学科か。
- ④卒業後の進路が希望に合っているか。

高校を決めるためのヒント

5 充実した学校生活を送れるか（調べる）

- ①全国大会に出場している部活動がある。
- ②海外研修やボランティア活動がある。
- ③伝統的な学校行事がある。
- ④費用や施設等の違いについて。
- ⑤取れる資格等について。
- ⑥卒業後の進路について。

高校を決めるためのヒント

6 様々な違いについて（調べる）

「上級学校訪問をする」

高校を決めるためのヒント

7 条件をクリアする（計画を立て、自ら決める）

- ①志望理由、志望動機を明確にする。
- ②合格するための学力をつける。
- ③保護者の同意を得る。

高校を決めるためのヒント

「上級学校訪問をする」

高校を決めるためのヒント

9 そのために

- ①国立・都立・県立・私立
- ②高等専門学校
- ③高等専修学校
- ④サポート校(通信制高校卒業に向けて支援してくれる学校)
- ⑤都立職業能力開発センター

入試制度について

入試制度について

1 都立高校の入試の種類

推薦に基づく入試
(推薦入試)

一般推薦

文化・スポーツ等特別推薦

※一般推薦、特別推薦は同時受検可

学力検査に基づく入試
(一般入試)

第一次募集

第二次募集*

入試制度について

2 私立高校の入試の種類

①推薦入試(単願)

②一般入試

③帰国生入試

などがある。

都立高校の 推薦入試について

推薦入試について

1 推薦入試の目的について

推薦入試について

2 本校の推薦基準について

- ①受験(受検)を希望する高校への志望理由が明確である。
- ②行事・委員会・係活動・部活動に積極的に取り組んでいる。
- ③身なりが整っていて、基本的な生活習慣が身についている。
- ④3年間の欠席、遅刻、早退が少ない。(高校側の規定に従う)
- ⑤授業態度が良く、意欲的に学習に取り組み、提出物を忘れずに提出できる。
- ⑥1～5のことを進学した高校でも卒業まで継続できる。

推薦入試について

3 推薦入試の可否判定について

必須

- ◆調査書点
(総合成績の50%以下)
- ◆個人面接点

選択

- ◇小論文点又は作文点
- ◇実技検査点
- ◇学校設定検査点

総合成績

※『自己PRカード』
は個人面接の資料として活用します。

自己PRカード

面接を実施する学校の受検者は出願時に提出

面接を実施しない学校は合格決定後に提出

入試成績に点数化はされないが面接の重要資料

[illegible]

記述する内容

- ①志望理由
- ②中学校生活の中で得たこと
- ③高校卒業後の進路

ポイント

各高校が提示する「本校の期待する生徒の姿」を参考に、内容を吟味して自分の言葉で書く
志望校に最も伝えたいことを記入する

推薦入試について
(都立・私立・国立を問わず)

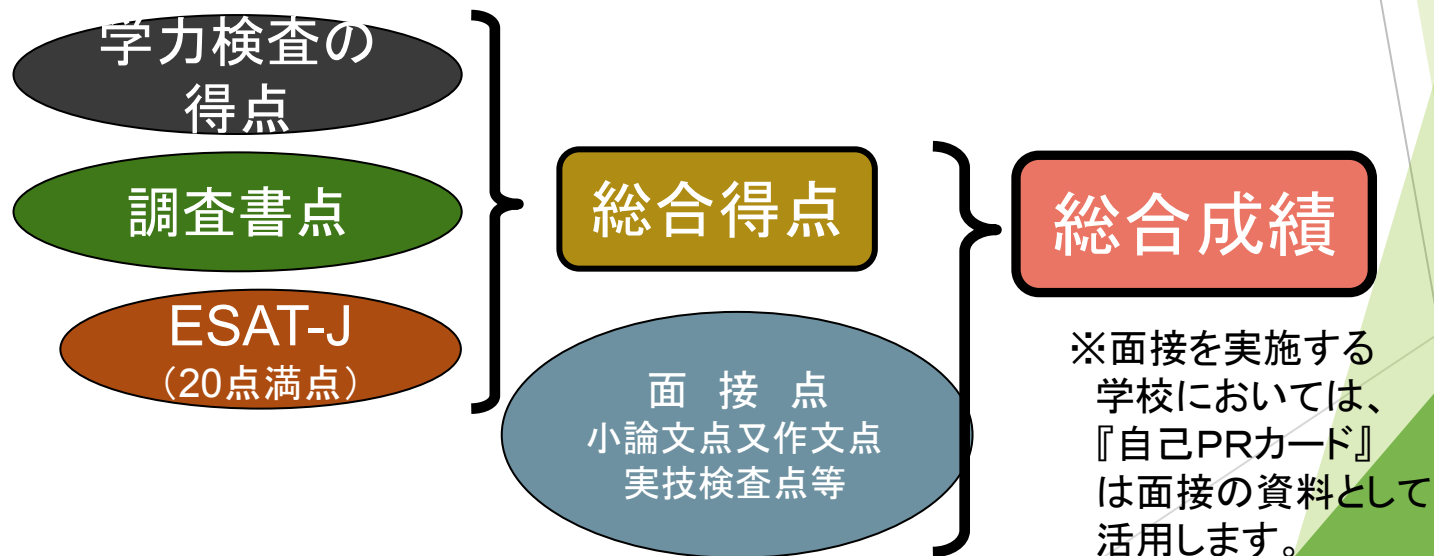
注意！

推薦入試に合格したら、必ず入学！
他の高校を受験することはできません。

都立高校の 一般入試について

一般入試について

1 一般入試の合否について



一般入試について

2 学力検査の得点と調査書点の比率

【全日制課程】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集	5教科 (国・数・英・社・理)	7:3
第二次募集	3教科 (国・数・英)	6:4

※学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文、作文、実技検査を実施する場合があります。

一般入試について

2 調査書点について(評定の点数化)

学力検査	評定を1倍	評定を2倍	評定の満点
5教科	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
3教科	国・数・英	社・理・音・美 保体・技家	75点

一般入試について

2 調査書点の算出

例えば、次のような評定のAさんが、学力検査が5教科、学力検査の得点と調査書点の比率が7:3の学校を受検する場合

国	数	英	社	理	音	美	保体	技家
5	3	5	4	3	3	4	5	3

$$(5+3+5+4+3) \times 1 + (3+4+5+3) \times 2 = 50 \text{点}$$

$$50 \text{点} \times 300 \text{点} \div 65 \text{点} = \underline{230 \text{点}} \quad \text{※小数点以下切り捨て}$$

一般入試について

3 合格のめやす

足立高校志望のAさんの場合

調査書点...230点

求められる総合得点 (合格率60%): 600点

(合格率80%): 630点

必要な入試得点 :

$600 - 230 = 370$ **264点**

$630 - 230 = 400$ **286点**

全校でマークシート方式を採用（共通問題）

外枠を囲って中を塗りつぶすといいてしょう

〔良い例〕

〔問〕	ア	イ	ウ	エ
-----	---	---	---	---

〔悪い例〕

うすい

〔問〕	ア	イ	ウ	エ
-----	---	---	---	---

ぬり残しがある

〔問〕	ア	イ	ウ	エ
-----	---	---	---	---

はみ出している

〔問〕	ア	イ	ウ	エ
-----	---	---	---	---

ぬりつぶしていない

〔問〕	ア	イ	ウ	エ
-----	---	---	---	---

消し残しがある

〔問〕	ア	イ	ウ	エ
-----	---	---	---	---

[illegible]

解答用紙
国語

受 検 番 号					
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

□部分がマークシート方式により解答する問題です。

マーク上の注意事項

- 1 HB又はBの鉛筆(シャープペンシルも可)を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 答えを直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例
	 線  小さい  はみ出し
	 丸囲み  レ点  うすい

数学

解答用紙 数学

□部分がマークシート方式により解答する問題です。

マーク上の注意事項

- H B又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 答えを直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例

* 受検番号欄は裏面にもあります。

受 検 番 号							
①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

[問1]	
[問2]	
[問3]	
[問4]	
[問5]	$x =$, $y =$
[問6]	
1 [問7]	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
[問8]	
[問9]	

[問1]	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
2 [問2]	* 解答欄は裏面にあります。

3 [問1]	あ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	い	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
[問2]	① $y =$	
	②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

[問1]	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	
4 [問2]	* 解答欄は裏面にもあります。	
[問2]	お	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	か	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	き	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

[問1]	く ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
5 [問2]	け ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	こ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

解答用紙 数学

受 検 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

[問2]	[証 明]
2	

[問2]	①	[証 明]
4		

△ABPと△QCBにおいて、

$\triangle ABP \sim \triangle QCB$

4 [問2]	②	お	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
			か	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
			き	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

4 [問2]

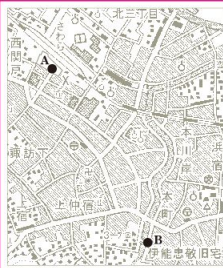
社会

解答用紙 社会

部分がマークシート方式により解答する問題です。
マーク上の注意事項

- H B又はBの前筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 答えを直すときは、きれいに消して、間違えずを残さないこと。
- 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例
	
	
	

1	(問1)	
	(問2)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問3)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D

2	(問1)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問2)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問3)	IとIIの表のA～E 略地図のP～S

3	(問1)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問2)	Iの表のA～E 略地図のP～S
	(問3)	

受 検 番 号							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

4	(問1)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問2)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問3)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問4)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D

5	(問1)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問2)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問3)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問4)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D

6	(問1)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問2)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D
	(問3)	

	A	B	C	D
(問1)	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D	☐ A ☐ B ☐ C ☐ D

理科

解答用紙 理科

□部分がマークシート方式により解答する問題です。
マーク上の注意事項

- H B又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 答えを直すときは、きれいに消して、新しく書き直すこと。
- 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例

1	[問 1]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 2]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 3]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 4]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 5]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 6]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 7]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D

2	[問 1]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 2]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 3]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 4]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D

3	[問 1]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 2]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 3]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D

4	[問 1]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 2]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 3]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 4]	(1) ☐ A	(2) ☐ B	(3) ☐ C	(4) ☐ D

受 検 番 号							
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]
[問 1]	[問 2]	[問 3]	[問 4]	[問 5]	[問 6]	[問 7]	[問 8]

5	[問 1]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 2]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
6	[問 3]				
	[問 4]				

6	[問 1]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D
	[問 2]				
	[問 3]				
	[問 4]	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D

自校作成問題について

国語・数学・英語の3教科を独自の入試問題で実施

共通問題と比べて出題レベルが高い

記述による解答

設問の文章が長い

グループ	問題作成	学校名
進学指導重点校	自校作成	日比谷・戸山・青山・西・ 八王子東・立川・国立
進学重視型単位制	自校作成	新宿・墨田川・国分寺

※他に国際高校は英語のみ独自問題で実施

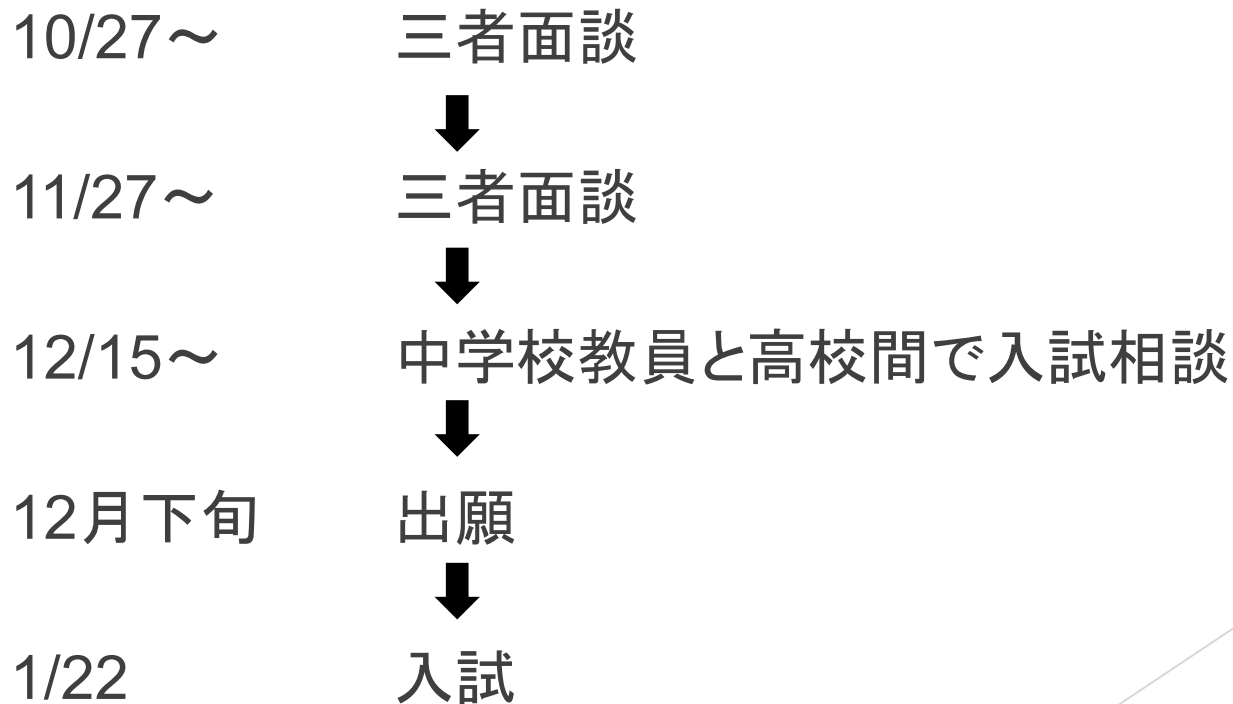
私立高校の 推薦入試について

推薦入試について

1 推薦入試(単願)の受験資格について

- ①その高校を**第一希望**とし、合格後、他校に出願しない。
- ②六月中学校の**推薦基準**を満たしている。
- ③志望校の「**推薦基準**」を満たしている。
- ④その高校の**個別相談**で出願を認めてもらっている。

私立推薦入試の流れ



一般入試について

2 併願優遇での受験資格について

- ①その高校の**個別相談**で出願を認めてもらっている。
- ②第一志望(都立or私立)が不合格だった場合、その高校に**必ず入学**する。
- ③高校側の「**併願優遇の成績基準**」を満たしている。

推薦入試について

3 単願推薦と併願優遇の成績基準の違いについて

足立学園高校(総合コース)の場合

単願推薦

- ▶ 5科**18**
- ▶ 評定は**9教科に1**を含まないこと
- ▶ 合格後の辞退は**認めない**

併願優遇

- ▶ 5科**20**
- ▶ 評定は**9教科に2**を含まないこと
- ▶ 併願校は都立・私立を問わない

共通事項

- ▶ 3年間の欠席は原則として**20日以内**

私立高校の 一般入試について

一般入試について

1 私立一般入試について

①学力検査・調査書・面接などにより、各私立高校が自由に行うもの。

「国語・数学・英語・面接」が最も多いパターン

一般入試について

2 第一希望(志望)入試について

- ①第一希望(合格したら入学金を払う)であることを条件に入試得点に加点してくれる制度。

※単願推薦や併願優遇がない高校で実施(特に難関校)

私立高校受験の 考え方について

私立高校受験の考え方

1 都立高校が第一志望の場合

- ① 第二志望の私立高校に併願優遇制度がある場合 → 併願優遇
- ② 併願優遇の出願基準の成績に満たない場合 → 一般受験
- ③ 第二志望の私立高校に併願優遇制度がない場合 → 一般受験
- ④ ②③の場合は、他の私立高校も受験するか、私立併願可能な高校の併願優遇を取る。(試験日が複数ある高校から探す)

私立高校受験の考え方

2 私立高校が第一志望の場合

① 第一志望の高校に単願推薦制度があり、

a 推薦の成績基準をクリアできている場合 → 単願推薦受験

b 推薦の成績基準をクリアできない場合 → 一般受験

② 第一志望の高校に単願推薦制度がない場合

→ 一般受験・第一志望受験

③ ①b、②の場合は、他の私立高校も受験するか、私立併願可能な高校の併願優遇を取る。

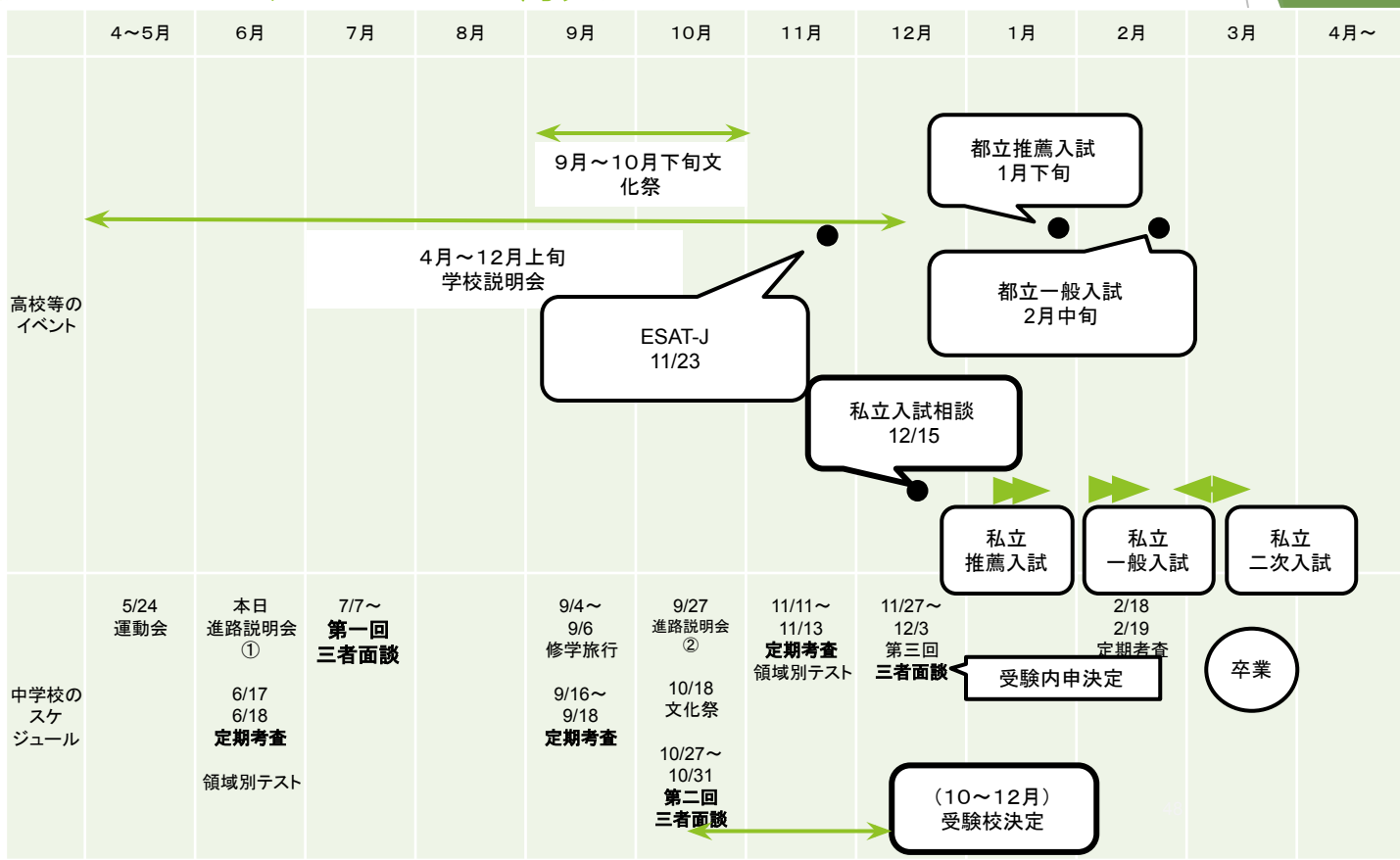
今後の予定とお願い

今後の予定とお願いについて

1 今後の予定

- ①志望の高校の候補を本人と保護者で3つ決める (第一回面談までに)
- ②受験(受検)予定の高校の説明会等に参加する (夏休み終了までに)
- ③第一志望校の方針〔都立or私立、推薦or一般〕 (前期終了までに)
- ④第一志望校の決定〔前期の成績を確認〕 (第二回面談までに)
- ⑤志望校の最終決定と出願書類等の確認 (第三回面談までに)

今後の予定とお願い



今後の予定とお願いについて

2 近年の動向について

- ①推薦、一次・前期入試において全校インターネット出願。
- ②スピーキングテスト(ESAT-J)の実施。
- ③一般入試募集人員の2割を男女合同に。(R5年度)
- ④全校で全定員を男女合同に。(R6年度)

今後の予定とお願い

3 皆様へのお願い

①学校見学、学校説明会への親子での参加

※私立推薦入試を検討している場合は11月中旬までに参加

②都立推薦入試を検討している場合は自己PRカードの作成